



公明党
堀 重雄

地方創生について

【質問】 本市の総合戦略が策定されたが、そのことに対する市長の思いを伺う。

また、日本版CCRCに対しての見解を伺う。

【答弁】 滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略については、有識者や産学官金労言などで構成される創生会議や計26回にわたるタウンミーティングなどを経て、昨年10月に本市の人口減少対策として取りまとめたものです。市政執行方針で、総合戦略の推進は市政の重要課題と考えており、財源の確保なども並行して行いながら、着実に進めたいと考えています。

また、日本版CCRCに対しては、市の総合戦略にも滝川版CCRC構想の推進を位置づけたところであり、本市の地域性や資源を十分に生かした生涯活躍のまち基本計画の策定に向けて取り組みたいと考えています。

行財政改革について

【質問】 厳しい財政状況が続く中、継続的に財政健全化に取り組むほか、より効果的な行政運営に努めるとあるが、市長の決意を伺う。

【答弁】 財政健全化計画の必要性については、機会のあるたびに、市民の皆さんへ説明してきました。

このたび、財政健全化計画を策定しましたが、平成28年度予算にも反映させながら、計画期間内に達成できるよう、全庁一丸となつて取り組み、できるかぎり早く財政健全化を達成したいと思っております。見直し可能な事業は、早期に実現できるよう努め、財政健全化計画に掲載していないものについても、常に事業見直しの視点をもち、常に事業見直しの視点を図と考えています。財政健全化を図り、将来にわたり持続可能な市政運営を目指すことは、将来世代への負担軽減にもつながり、責任ある世代が全力で進めることが極めて大切であると思っております。私とその先頭に立ち、オール滝川として市民の皆さんにも、協力をいただきながら、職員一丸となり進

めていく決意であります。

住宅ストックの適正管理について

【質問】 民間住宅活用の推進のための補助制度が、今年度も継続されたことを評価する。全国的にも空き家が増え続けているが、補助制度を含め今後の対策を伺う。

【答弁】 全国的に空き家は、年々増加傾向にあり、その中でも良質で長期にわたり活用できるものがあります。本市としては、空き家対策に特化した支援補助制度は設けていません。しかし、市内の中古住宅においては、市民の住環境整備の向上を目的として創設した住宅改修支援補助事業と住み替え支援補助事業により、住宅資産価値の向上や子育て世帯への転用の促進を進め、結果的に空き家の抑制に寄与しています。

住宅改修支援補助事業については、平成21年度の事業開始から今年度までに、長寿命化改修や耐震改修で503件の実績があり、住み替え支援補助事業については、子育て世帯の良質な空き家への入居を促進するなど、環境の変化に

伴う売買や賃貸借の活用として、相談件数が191件、成約件数が82件の実績となっております。

このことから、この2つの事業は、平成27年度で終了予定でしたが、当初の目的のとおり着実に進めることが、結果的に空き家防止に資するものとして期待し、28年度は継続することとしました。

歳入確保について

【質問】 ふるさと納税に対する謝礼品(特産品) 拡充の具体的な取り組みを伺う。

【答弁】 ふるさと納税の謝礼品については、寄付者に関心を持っていただけるよう随時追加しており、月に一度は更新しています。この3月には、滝川クラフトビール3種飲み比べセット、朝採りグリーンアスパラ、ゆめびりか5キログラムを5か月連続お届けなどを追加しました。今後も内容を分析し、満足していただける謝礼品の提供に努めます。

また、現在の寄付額に応じた1万円、3万円、5万円、10万円のコースに、新たに2万円コースの追加も検討しています。